

## 夏休みのテーマは『家族』『地域』『命』でした

暑くて長い夏休み、皆さんのご家庭ではいかがお過ごしでしたか。一学期の終業式では「夏休みの暮らし方」について、私は、子どもたちに3つのお話をしていました。

- ①「家族の一員としての役割をしっかりとしましょう」
- ②「暑さに負けず、学校や地域の行事に参加しましょう」
- ③「自分の命をしっかりと守り、2学期の始業式には元気に学校へ来ましょう」

7月の水泳指導には、沢山の児童が参加しました。低学年の子どもたちは、来るたびに上手になりました。最後は高温のため2日間中止となりましたが、参加した子どもたちは十分に力をつけたと思います。高学年は、コロナ禍で泳げなかった分を取り戻すかのごとく頑張りました。そして、最終日にはみんなで力を合わせて大きな波をつくりました。



地域の今井公園や北カリカエ公園で行われた盆踊りでは、事前に練習に取り組んだ子どもたちが法被姿で元気よく太鼓をたたきました。また、ラジオ体操にもたくさん子どもたちが参加させていただいたとのこと。子どもたちのために様々な行事を計画・準備・運営して下さった地域の皆様に心から感謝申し上げます。

## 心とからだの「ほっとウィーク」 9月のテーマは『笑顔』

いよいよ二学期が始まります。夏休み明けは、様々な不安を抱える子どもたちも多く出る時期と言われています。そこで、始業式から半日で帰ることができるこの一週間を、「ほっとウィーク」と名付けることにしました。意味は2つあります。ホット！つまり、まだまだ暑い日が続きます。あまり最初から無理をせず、体を慣らしていきましょう…という意味の「体」のほっとウィーク。もう一つは、お友達や先生とお話して、心をほぐしていくという意味の「心」のほっとウィークです。

長い長い2学期ですから、最初から飛ばし過ぎず、「心と体のほっとウィーク」からぼちぼち始めていこうと思います。ご家庭におかれましても、子どもたちの生活リズムにご配慮いただき、『笑顔』でエネルギーを注入してあげてください。そして、ちょっと気が重いな…というお子さんも、なんとか学校へ送り出していただけると有り難いです。どうぞよろしく申し上げます。